

【解答例集】仕事を「作業」に分けてみよう。5W1H分解

CCN寺子屋 ワークシート解答例集 | task-5w1h

⚠ **保護者・先生向け：**このシートは参考例です。生徒自身が考えることが大切です。答えを見せるのではなく、まずお子さん・生徒さん自身に取り組ませてからご活用ください。

1 調べたい仕事を1つ選ぼう

モデル回答例

保育園の先生

ここがポイント

自分が興味ある仕事・将来なりたい仕事・親や知り合いがしている仕事など、情報が集めやすいものを選ぼう。

2 5W1Hで分解しよう

モデル回答例

When（いつ）：朝7時～夕方6時。平日。1年中（保育は休みが少ない）

Where（どこで）：保育園の中・園庭・近くの公園

Who（誰が、誰のために）：保育士の資格を持つ大人が、0～5歳の子どもと保護者のために

What（何を）：子どもの世話・食事の支援・遊びを通した発達支援・保護者との連絡

Why（なぜ）：保護者が安心して働けるように・子どもの健やかな成長のために

How（どうやって）：絵本・歌・遊び・観察・声かけ・記録・チームで連携

ここがポイント

5W1Hは「調べる枠組み」。それぞれの欄を埋めることで、その仕事の全体像が見えてくる。「How」は特に具体的なほど良い。

3 6つを大切な順に並べよう

モデル回答例

-  Why（なぜ）＝子どもの成長のため
-  Who（誰のために）＝子ども一人ひとり
-  How（どうやって）＝観察と寄り添い

理由：どんな立派な方法（How）も、誰のためか（Who）、なぜするか（Why）が明確でないと意味がない。

ここがポイント

順位付けに「正解」はない。「なぜそう思ったか」の理由を書くことが大切。自分なりの考えを持てることがゴール。

4 AIと人間の分担を考えよう

モデル回答例

AIがやれそうな部分：When（シフト自動管理）・What（連絡帳の作成・記録）

人間が必要な部分：子どもの感情への即時対応・保護者の不安への共感・突発的なトラブルへの対応

ここがポイント

「記録や管理はAIに任せて、人間は子どもとの直接の関わりに集中できる」という発想が、AIと共存する保育の未来像。